

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 17 年 6 月 2 日 (2005.6.2)

【公開番号】特開 2003-134117 (P2003-134117A)

【公開日】平成 15 年 5 月 9 日 (2003.5.9)

【出願番号】特願 2001-323774 (P2001-323774)

【国際特許分類第 7 版】

H 0 4 L 12/28

H 0 4 M 1/00

H 0 4 M 1/253

H 0 4 M 3/00

【F I】

H 0 4 L 12/28 2 0 0 A

H 0 4 M 1/00 R

H 0 4 M 1/253

H 0 4 M 3/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 8 月 11 日 (2004.8.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 3】

図示するように、本実施形態の IP 電話機 1 0₁ ~ 1 0₄ は、例えば IEEE 8 0 2 . 3 に基づく LAN 3 0 と接続するための LAN インターフェース部 1 0 1 と、ハンドセット等の音声入出力装置や、ダイヤルボタン等を備える操作パネルと接続するための入出力インターフェース部 1 0 2 と、LAN インターフェース部 1 0 1 を介して LAN 3 0 と送受するパケット (IP パケット) を処理する IP 処理部 1 0 3 と、IP 処理部 1 0 3 および LAN インターフェース部 1 0 1 を介して、LAN 3 0 に接続された DHCP サーバ 2 0 にアクセスし、自身の IP アドレスを入手する DHCP 処理部 1 0 4 と、SIP 等の呼制御プロトコルを使用して呼制御を行なう呼制御処理部 1 0 5 と、RTP を使用して IP 処理部 1 0 3 および入出力インターフェース部 1 0 2 間の通話信号の中継を行なう RTP 処理部 1 0 6 と、入出力インターフェース部 1 0 2 を介して操作パネルから操作者の指示を受け付ける指示受付部 1 0 7 と、を有する。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 4】

図示するように、本実施形態のコールマネージャ 4 0 は、例えば IEEE 8 0 2 . 3 に基づく LAN 3 0 と接続するための LAN インターフェース部 4 0 1 と、LAN インターフェース部 4 0 1 を介して LAN 3 0 と送受するパケット (IP パケット) を処理する IP 処理部 4 0 2 と、IP 処理部 4 0 2 および LAN インターフェース部 4 0 1 を介して、SIP 等の呼制御プロトコルを使用して、IP 電話機 1 0₁ ~ 1 0₄ の代わりに、つまりプロキシサーバとして呼制御を行なう呼制御処理部 4 0 3 と、を有する。なお、コールマネージャ 4 0 の IP アドレス (ここでは、1 9 2 . 1 . 1 8 . 2) は固定である。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0088

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0088】

例えば、上記の各実施形態では、IP電話システムをIEEE 802.3に基づくLAN上に構築した場合を例にとり説明したが、本発明のIP電話システムは、その他のWANやイントラネット等、様々なネットワーク上に構築することが可能である。